



# せたがや区議会だより

No.229

平成23年(2011年)4月28日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 平成23年度予算を可決 第1回定例会



世田谷スイミングアカデミー体験会の様子(会場:総合運動場温水プール)

### 東日本大震災に対するお見舞い

東日本大震災により被災されました多くの皆様からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。世田谷区では、地震発生直後に災害対策本部を立ち上げ、区民の安全安心の確保に取り組むとともに、被災地に対する義援金の受け付け、物資や人的な支援、被災者の受け入れなどを行ってまいりました。世田谷区議会としても、一日も早い被災地の復興に向け、区執行部と連携し、区民の皆様のご協力を賜りながら支援に全力で取り組んでまいります。

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から37件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

●23年度各会計予算 5件

○一般会計  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○国民健康保険事業会計  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○後期高齢者医療会計  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○介護保険事業会計  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○中学校給食費会計  
賛成 自民、公明、民主、共産、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 無党派

○一般会計(第三次)  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

●22年度各会計補正予算 5件

○一般会計(第三次)  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○一般会計(第四次)

賛成 自民、公明、民主、共産、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 無党派

○国民健康保険事業会計(第二次)  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

○老人保健医療会計(第二次)  
賛成 自民、公明、民主、共産、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 無党派

○介護保険事業会計(第二次)  
賛成 自民、公明、民主、生ネ、社民、み行、新風、減税、未来、虹、世田谷、無所属  
反対 共産、無党派

### 党派名等

自民 自由民主党世田谷区議団  
公明 公明党世田谷区議団  
民主 世田谷区議会民主党  
共産 日本共産党世田谷区議団  
生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団  
社民 社会民主党世田谷区議団  
み行 みんなの党・世田谷行革10番無党派  
無党派 無党派市民  
新風 新風21  
減税 減税世田谷  
未来 未来せたがや  
虹 レインボー世田谷  
世田谷 世田谷無所属の会  
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつなどは禁止されています。

〈8ページへ続く〉

# 代 表 質 問

2月23日及び24日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

## 自由民主党世田谷区議団

上島 よしもり議員

熊本区長が今後の区政に託す思い

**質問** 熊本区長は都議22年、区長8年の計30年以上の間、世田谷の発展に心血を注いできた。安全安心のまちづくりを進めてきた区長が今後の区政に託す思いは何か。  
**区長** 魅力あふれる安全安心のまちとして一層発展することを願う。

強固な財政基盤の構築

**質問** 社会保障費の増大などにより、区財政は厳しい状況だ。国に子ども手当などの財源措置を強く求めるとともに行政改革を一層進め、強固な財政基盤を構築せよ。  
**副区長** 持続可能な自治体の構築と区民福祉の向上に全力を挙げる。

税外収入の確保に向けた取り組み

**質問** 区有財産の活用により安定的に税外収入を確保すべきだ。大蔵第二運動場の運営に当たっては、収入増を目指す経営的視点を持ち、利用者がふえるよう工夫を凝らせよ。  
**少子振興部長** 多くの区民に利用してもらえぬ施設経営に取り組み。

さらなる道路整備の推進

**質問** 区長は遅れている区内の道路整備に優先的に取り組んできた。安全で安心して住み続けられる世田谷の実現に向け、今後もスピード感を持って道路整備を推進せよ。  
**副区長** 財政状況や事業効果を踏まえ今後も道路整備推進に努める。

バス路線の拡充に向けた検討状況

**質問** 超高齢化社会の到来を控え、区民が安心して利用できる移動手段の確保に向け、バス路線を計画的に拡充すべきだ。新規バス路線導入に向けた取り組み状況を示せ。  
**交通政策部長** 経堂駅・八幡山駅間の実験運行などを予定している。

在宅子育て支援策の充実

**質問** 在宅で子育てしながら短時間の就労を望む声は多い。認可園の3〜5歳児の定員のあきによるスペースなどを活用し、短時間でも預かる定期利用保育を実施せよ。

子ども部長 4月からの事業開始に向け運営法人と連携して進める。

質の高い教育に向けた教科書採択

**質問** 区は新学習指導要領をもとに、区の教育理念を示した教育要領を作成中だ。質の高い教育の実践に向け、区立中の教科書は教育要領にふさわしいものを選択せよ。  
**教育政策部長** 区の教育要領などを踏まえ、適正に採択を進める。

産業部門と連携した環境政策

**質問** 国の家電エコポイント制度やエコカー減税などは産業振興につながる環境政策の成功例だ。区としても、環境と産業などの部門の連携を強化して取り組み。  
**環境対策部長** 産業部門、まちづくり部門とも密接な連携を図る。

循環型社会の確立

**質問** 循環型社会の確立は喫緊の課題だ。家庭から出されるごみの回収方法の工夫などにより資源化可能な物の資源化を徹底的に進め、さらなるごみの減量を図れ。  
**清掃・リサイクル部長** 資源化を一層推進し、循環型社会の実現を目指す。

雇用対策と就労支援策の融合

**質問** 中小企業が人材の確保に苦労している一方で、就職先が決まらない若者も多い。区内中小企業の雇用と若者の就労を結びつけるための取り組みを一層推進せよ。  
**産業政策部長** 中小企業・若年者マッチング応援事業を開始する。

高齢者の在宅生活の一層の支援

**質問** 高齢者が地域で安心して暮らし続けるには、在宅生活を支援する仕組みづくりが重要だ。要介護高齢者とその家族を支えるショートステイなどの充実に取り組み。  
**地域福祉部長** 今後も、在宅生活を支える基盤の確保に努める。

高齢者見守り施策の推進

**質問** ひとり暮らし高齢者などを地域で支える取り組みが重要だ。支援が必要な高齢者を早期に見つけて適切なサービスにつなげるため、高齢者見守り施策を推進せよ。  
**地域福祉部長** 多様な見守り施策を展開し安全安心の実現を目指す。

## 公明党世田谷区議団

佐藤 弘人議員

23年度予算案での熊本区長の姿勢

**質問** 生活者の視点で政策を立案し、取り組んできた熊本区長の2期8年の功績を評価する。今後の課題に対し、最後となる23年度予算案に反映した区長の姿勢を示せ。  
**区長** 区政の一層の発展と充実を目指す予算として編成した。

新たな公会計制度の導入

**質問** 区財政の健全化が急務だ。資産や負債などを客観的に把握でき、事業の無駄を見つけやすい複式簿記に基づく新たな公会計制度を導入し、財政の透明化を図れ。  
**会計管理者** 会計制度担当係長を設け、具体的な検討を進めている。

高齢者向け住宅の整備促進

**質問** 今後の高齢社会に対応できる住宅政策を推進することが重要だ。低所得高齢者専用賃貸住宅の整備促進に積極的に取り組み。  
**副区長** 区独自の制度を構築する可能性も含めて検討していく。

生活保護受給者への就労支援

**質問** 厳しい経済状況の中、失業を理由とした生活保護受給者が急増している。生活保護から就労に結びついた事例を調査分析し、一層の就労支援策の拡充を図れ。  
**地域福祉部長** 支援を強化するため就労支援専門員を2名増員する。

住宅の省エネ化の促進

**質問** CO<sub>2</sub>排出量の削減に向け、住宅の省エネ化を一層促進すべきだ。国の住宅エコポイントの付与対象外の省エネ設備の普及に向け、区が独自の設置促進策を講じよ。  
**環境対策部長** まずは省エネ化の意識を高める啓発が必要と考える。

特定健診の実施体制の充実

**質問** 区民の命と健康を守るため、特定健診の実施体制を一層充実すべきだ。平日夜間や土日祝日にも受診できる環境の拡充に向け、区は医療機関に積極的に働きかけよ。  
**保健福祉部長** 関係機関と協議する

など、実施体制の充実を努める。

保育待機児解消策の強化

**質問** 保育待機児解消策の強化が必要だ。認定こども園の設置促進や、企業内保育所や保育室への支援の充実など、国や都の制度も積極的に活用して施設の拡充を図れ。  
**副区長** 保育待機児の解消に向け、全庁を挙げて多角的に取り組む。

小学校の少人数教育の拡充

**質問** 児童へのきめ細かな指導が可能で少人数教育を推進すべきだ。区が小学1、2年で実施している少人数教育の評価検証を踏まえ、小学3年以上にも拡充せよ。  
**教育政策部長** 国や都の動向を十分注視して対応を進める。

特別支援教育の着実な推進

**質問** 区が進める世田谷9年教育では、質の高い教育が平等かつ適正に提供されることが求められる。特別支援教育の内容や指導体制などを9年教育に明確に位置づけよ。  
**教育長** 世田谷9年教育において特別支援教育を推進する。

## 世田谷区議会民主党

風間 ゆたか議員

契約制度の見直し

**質問** 区には、入札とすべき50万円超の契約を、入札を逃れるために分割して発注した不適切な契約があった。少額の契約も入札とするなど、契約制度の見直しを図れ。  
**財務部長** 今後も適正な事務執行に向けた取り組みの強化を進める。

退職職員の外郭団体への再就職

**質問** 区の退職職員の外郭団体への再就職は、天引きであり区職員の特権だ。現在、外郭団体に再就職している退職職員の人数を示せ。  
**政策経営部長** 平成22年4月1日現在、30名である。

持続可能な社会に向けた産業政策

**質問** 持続可能な社会を目指した産業政策が必要だ。区内農業の存続に向けた地産地消の促進や社会課題の解決に取り組む企業の集積による地域活性化などに取り組み。

副区長 時代に対応し持続可能な社会を目指した産業政策を進める。

環境先進自治体に向けた取り組み

**質問** 区は環境先進自治体を目指すべきだ。区内でスマートグリッド（次世代電力網）を推進している事業者や国などと連携し、スマートシティづくりに取り組む。  
**環境対策部長** 情報収集を行い、事業者との連携について研究する。

高齢者見守り施策の効率的な実施

**質問** 区は高齢者見守り施策として民生委員ふれあい訪問や地区での見守りネットワークモデル事業などを始める。効率的に施策が進むよう事業間の情報を共有化せよ。  
**副区長** 情報共有の方策を見定め、見守りネットワークの構築を図る。

障害者のケアホームの整備促進

**質問** 都営団地の建てかえに合わせて都に整備を求めただけでは、障害者のケアホームの整備促進は望めない。梅ヶ丘病院跡地に医療と連携したケアホームを整備せよ。  
**保健福祉部長** 跡地には障害者の通過型の入所施設を想定している。

児童クラブの利用時間の延長

**質問** 児童クラブの利用時間が午後6時までとなっているため、働き方を変えざるを得ない保護者は多い。共働き世帯がふえている現状を踏まえ、利用時間を延長せよ。  
**子ども部長** 国の動向を注視しながら、引き続き検討する。

保育施設の積極的な整備

**質問** 区は23年度の保育施設の整備計画で目標を70人分程度と定めたが、これでは保育待機児の解消は図れない。整備計画の前倒しなどにより、積極的に整備を進めよ。  
**子ども部長** 23年度の整備目標の達成に向けて全力で取り組む。

学校現場の隠れい体質の改善

**質問** 校内で起きているいじめや学級崩壊の事実を認めない区立校がある。教育委員会はいじめや学級崩壊への迅速な対応を図るため、学校現場の隠れい体質を改善せよ。  
**教育長** 校長会などと連携を深めるとともに今後も指導などを行う。

## 日本共産党世田谷区議団

村田 義則議員

区内中小零細企業の支援策の充実

**質問** 中小零細企業が安定した経営を維持するためには、区のゼロ金利融資制度だけでは不十分だ。経営を続けられるよう、仕事に重点を置いた施策を展開せよ。  
**産業政策部長** ビジネスマッチングを拡充し、積極的に取り組む。

新たな住宅リフォーム助成の実施

**質問** 住宅リフォーム助成は仕事の創出につながり、他自治体で大きな効果を上げている。国の交付金を積極的に活用し、区も他自治体と同内容の助成を実施せよ。  
**都市整備部長** 厳しい財政状況などを勘案すると困難だと考える。

公共サービスの質の確保

**質問** 区の委託事業の質を確保するには、一定水準の労働条件を担保する公契約条例の制定が重要だ。条例の検討では、工事契約だけではなくすべての契約を対象とせよ。  
**財務部長** 今後の検討において、テーマの一つになると考える。

区立認可園の増設

**質問** 増加し続ける保育待機児の解消には、区立認可園の積極的な増設計画と財政措置が必要だ。待機児ゼロを目指して取り組み。  
**子ども部長** 23年度の整備目標量70人程度の実現に全力で取り組む。

特養ホーム増設計画の策定

**質問** 特養ホームの不足は深刻であり、増設を求める区民の声は大きい。将来の介護に区民が安心感を持つよう、特養ホーム増設に向けた中長期計画を策定せよ。  
**地域福祉部長** 24年度以降の関連計画において整備の考え方を示す。

医療費と教育費の無料化の拡充

**質問** 子育て世代が将来に希望と安心感を持てるような施策を積極的に展開すべきだ。医療費の18歳までの無料化を実現せよ。  
**副区長** 区財政の状況などから幅広い議論が必要だと認識している。

# 代 表 質 問



代表質問、一般質問の様様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継** をクリック！

生活者ネットワーク世田谷区議団  
山木 きょう子議員

## 自治基本条例の制定

**質問** 地域主権や区民自治の実現への取り組みを一層推進すべきだ。区民自治を基本理念に掲げる区として自治基本条例を制定せよ。

**区長** 議会や区民との十分な議論の中で検討されるべきと考える。

## オンブズパーソン制度の創設

**質問** 児童虐待防止に向け、子どものSOSを受けとめ効果的救済につなぐ第三者機関が必要だ。家庭や学校への調査権や勧告権を持つオンブズパーソン制度を設けよ。

**子ども部長** 子どもの尊厳や人権が尊重される社会の実現を目指す。小規模多機能型施設の整備推進

**質問** 高齢者の在宅生活を支える地域密着型サービス拠点の整備が急務だ。グループホームや、宿泊・通い・訪問などを行う小規模多機能型施設の整備を一層推進せよ。

**地域福祉部長** 公有地の活用など、多様な手法で事業者の誘導を図る。

**資源化可能物の分別の徹底**  
**質問** 資源化可能な容器包装プラスチックの大半は可燃ごみとして焼却されており、分別の徹底が喫緊の課題だ。区民がわかりやすく、手軽に分けて出せるよう取り組み。清掃・リサイクル部長 事業者に働きかけ、身近な回収箇所の増加を図る。

**いじめ防止への取り組みの強化**  
**質問** いじめによる不登校や自殺を防ぐには、学校での気づきが必要だ。一人ひとりに応じたきめ細かな対応を行うなど、いじめ防止に向けた取り組みを強化せよ。

**教育政策部長** 今後も適切な対応を進めるよう学校に働きかける。

**男女共同参画条例の制定**  
**質問** 人間尊重のまちづくりを掲げる区には、取り組みの根拠となる条例が必要だ。再三求めてきた男女共同参画条例制定を実現せよ。

**副区長** ささまざまな角度から条例制定についての調査検討を進める。

# 一 般 質 問

2月24日及び25日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

## 白山 晋一議員(自 民)

### 中学校で武道を学ぶ意義

**質問** 24年度から中学校の体育で必修化される武道を通じ、子どもが礼儀作法などを学び、身に付けることが期待される。武道を学ぶ意義について区はどう考えるのか。

**答弁** 国際社会で生きていく子どもにとり意義のあることと考える。

### 日本の伝統文化を学ぶ機会の充実

**質問** 日本が世界に誇る「道」の文化を子どもが学ぶことは大変有意義だ。中学校での武道の必修化を機に、区立校で茶道や華道、書道などを学ぶ機会の充実を図れ。

**答弁** 日本の伝統文化に親しみ、茶道などを学べる機会を充実する。

### 高齢者見守り施策の円滑な拡充

**質問** 高齢者の見守りの取り組みが町会などへの新たな負担となつてはならない。災害時要援護者支援事業などとの連携を丁寧に取り、高齢者の見守りを円滑に拡充せよ。

**答弁** 協力を得る区民の負担が大きくなるよう配慮する。

## 桜井 純子議員(生 産)

### 発達障がい者への継続的な支援

**質問** 区は発達障がいの相談対象を18歳未満に拡充したが、大人になって障がいがあることもあり一層の拡充が必要だ。発達障がい者の一生を見据えた支援を行え。

**答弁** 第3期世田谷区障害福祉計画の策定の中で検討する。

### 思春期以降の子どもの健康支援

**質問** 子どもがあらゆる悩みを気軽に相談できる場の確保が必要だ。思春期以降の子どもの心や体の健康を幅広く支援するワンストップ型の総合相談窓口を設置せよ。

**答弁** 関係所管が連携を図り、総合相談窓口の設置を検討する。

### 男女共同参画の一層の推進

**質問** だれもが暮らしやすい社会の実現に向け、男女共同参画を一層推進すべきだ。男女共同参画センターらぶらすを拠点とし、区民と協働した取り組みを展開せよ。

**答弁** 男女共同参画活動の拠点施設としての機能の充実に取り組む。

## 鈴木 昌一議員(自 民)

### 民有地の緑保全策の充実

**質問** みどり33の実現には、緑の創出と保全の双方の施策が重要だ。緑化基準強化などの創出策にかけると同様の意気込みで屋敷林などの民有地の緑保全策を充実せよ。

**答弁** 屋敷林などへの税制上の優遇措置の適用を国や都に求める。

### 生涯現役推進施策の区の評価

**質問** 区は生涯現役社会の推進に向け、高齢者クラブの活動への支援やふじみ荘の運営など、さまざまな事業に取り組んできた。その成果をどう評価しているのか。

**答弁** 中高年が新たに地域活動に参加し、活躍するなど成果がある。

### 高齢者の生きがいづくりの支援

**質問** 多くの高齢者が生きがいを持って地域で活躍することは、地域の活性化につながる。意欲のある高齢者の掘り起こしや活動の促進につながる仕組みを充実せよ。

**答弁** 高齢者が地域で生きがいを持ち暮らせるよう施策展開を図る。

## ひうち 優子議員(世田谷)

### 働く世代への自転車安全利用促進

**質問** 働く世代に効果的に自転車の安全利用を促すべきだ。バスや鉄道内のデジタルサイネージ(電子看板)などを活用して啓発を図れるよう、事業者に要望せよ。

**答弁** 機会をとらえ、自転車の安全利用のPRについて要望する。

### 図書館のパソコン使用環境の充実

**質問** 図書館でパソコンが使える環境を充実すべきだ。改築される代田図書館を初め、全区立図書館で無線LAN設置や電源供給などを行い、使用スペースも拡充せよ。

**答弁** 携帯型端末機の進歩など関係機器の動向を注視して検討する。

### 図書館の開館時間の延長

**質問** 閉館時刻が早いいため、仕事帰りに図書館を利用できないとの声を多く聞く。区民の利便性の向上に向け、経営図書館以外の区立図書館でも開館時間を延長せよ。

**答弁** 区の図書館ビジョン第2期行動計画の策定の中で検討する。

## 青空 こうじ議員(無所属)

### 学校施設のエネルギー削減の推進

**質問** 教育委員会はエネルギー削減に向けた取り組み方針を策定した。各校で特色を生かした自発的な取り組みが進むよう、方針の周知徹底と学校との連携強化を図れ。

**答弁** エネルギー削減計画推進会議での検討なども踏まえ取り組む。

### エネルギー使用量の見える化

**質問** 学校施設のエネルギー使用量を目で確認できれば、児童生徒や教職員の省エネへの意識向上につながる。区はエネルギー削減に向け、見える化をどう進めるのか。

**答弁** エネルギー使用状況のグラフの掲示などを計画している。

### 14歳の成人式の充実

**質問** 多感な中学生の時期に、自分の生き方を考えたり、人に意見を伝えるなどの機会を持つことは重要だ。生徒会サミットが企画運営する14歳の成人式を充実せよ。

**答弁** 式の充実などへの検討を重ねるとともに広報にも一層努める。



お父さんとチャレンジ！手作りお話し会の様子  
(会場：男女共同参画センターらぶらす)

## 本文中で使っている省略表記

- スポーツ振興部長
- 交通政策部長
- 環境対策室長
- 全高齢者実態調査
- 環境総合対策室長
- 全高齢者実態把握調査
- スポーツ振興担当部長
- 交通政策担当部長
- 環境総合対策室長
- 全高齢者実態把握調査

重政 はるゆき議員(民 主)

外郭団体への派遣職員削減

【質問】 区は外郭団体への派遣職員を17年から22年の間に98人から78人に減らしたと聞く。今後は、大阪府が2年間で45%削減した例を参考に、一層の削減に努めよ。

【質問】 外郭団体改善方針の趣旨に沿った計画的な削減に努めよ。

全高齢者の実態把握への取り組み

【質問】 区内のすべての高齢者の実態を把握すべきだ。郵送による全高齢者実態調査に未回答のすべての高齢者を、区みずからが一斉に訪問して実態を効率的に調査せよ。

【質問】 未回答者への全数訪問を一斉に行うことは、研究課題とする。

口ききやあつせんの文書化

【質問】 以前、口ききやあつせんの内容を文書化して情報公開せよとの質問に対して、区から他自治体の動向を見ながら研究するとの回答があった。研究の成果を示せ。

【質問】 現時点で文書化の予定はないが、引き続き研究する。

西村 じゅんや議員(民 主)

中高年の地域活動への参加促進

【質問】 地域貢献意欲は高いが地域活動に参加するきっかけがつかめない中高年世代は多い。地域ニーズと中高年世代の技能などをマッチングする技能登録制度をつくれ。

【質問】 広い分野でシニア世代の技能などを活用する方策を研究する。

高齢者の移動手段の拡充

【質問】 高齢者が地域で積極的に活動するためには、利用しやすい移動手段を確保することが必要だ。交通不便地域の解消に向け、バス路線の拡充などを推進せよ。

【質問】 バス事業者と連携し、さらに便利な公共交通の充実を図る。

京王線連立の事業費の比較検討

【質問】 都は京王線連立事業の事業費を高架、地下、併用それぞれの構造形式別に総額で示したが、積算根拠がなければ比較検討できない。積算根拠はいつ示されるのか。

【質問】 事業主体である都が適切に対応するものだと考える。

すがや やすこ議員(民 主)

多様な手法による保育施策の充実

【質問】 保育待機児の解消が急務だ。株式会社など多様な運営主体による認可園の整備や賃貸マンションを利用した保育など、区民や民間の力を活用した施策を充実せよ。

【質問】 引き続き、認可園を初めとした保育サービスの充実を努める。

学力格差解消に向けた取り組み

【質問】 区立校における子どもの学力格差の解消と学力向上への取り組みが必要だ。25年度からの全区立中での土曜日の補習の実施に向け、具体的にどう取り組むのか。

【質問】 試行の結果を踏まえ、実施科目や対象学年などを定めていく。

特色ある公園づくりの推進

【質問】 公園の維持管理経費を無駄にしないためにも、区民の公園利用の促進を図るべきだ。球技広場やドッグランの設置などにより、特色ある公園づくりを推進せよ。

【質問】 利用状況調査結果の活用などで特色ある公園づくりを進める。

上杉 裕之議員(民 主)

医療ケア付きケアホームの整備

【質問】 障害者の親亡き後対策や地域生活支援などの観点から、医療ケア付きのケアホームの需要は高まっており、整備促進が急がれる。他自治体での整備状況を示せ。

【質問】 横浜市や横須賀市などで取り組んでいると聞いている。

精神障害者訪問支援事業の誘致

【質問】 国の精神障害者アウトリーチ(訪問支援)推進事業を活用すべきだ。区は関係機関と連携して事業を誘致し、早期発見の視点から、まずは学校現場に導入せよ。

【質問】 国と都の動向や都と区の役割分担なども踏まえて検討する。

スパー堤防事業への区の見解

【質問】 国の事業仕分けで廃止と判定されたにもかかわらず、区は先の議会ですパー堤防事業を必要だと考えている旨の答弁を行った。事業への区の見解を具体的に示せ。

【質問】 区民の生命と財産を守るため、区として必要だと考えている。

大庭 正明議員(み 行)

今後の財政運営に臨む区の方針

【質問】 区は基金を約13億円取り崩して23年度予算案を組んだが、今後も同様に取り崩せば3年後には基金が底をつき予算を組めなくなる。抜本的な解決策はあるのか。

【質問】 基金が底をつくことがないよう今後も行財政改善に取り組む。

人件費削減に向けた取り組み

【質問】 区財政の改善を目指すならば、人件費を削減すべきだ。人件費が区の税収に見合っているか議論するため、歳入総額ではなく税収に対する人件費比率を示せ。

【質問】 人件費比率は歳出の性質別分類として統計的に整理している。

包括外部監査の継続実施

【質問】 区は外部からの意見を真摯に受けとめ、区財政の再建などに生かすべきだ。休止するとして包括外部監査を継続し、監査の結果を全庁的な事務改善につなげよ。

【質問】 今後は数年に一度の執行が望ましいと考え、一たん休止する。

小泉 たま子議員(新 風)

地区のルールづくりの推進

【質問】 地区共通の価値観がなくなら、トラブルがふえている。今こそ、行政が積極的に支援し、地区まちづくりセンターを中心に、地区のルールづくりに取り組め。

【質問】 地域住民と協働して地域コミュニティの活性化を進める。

お元氣高齢者への支援策の充実

【質問】 区内には介護保険サービスを受けていないお元氣高齢者が多い。お元氣高齢者も保険料を負担していることを踏まえ、お元氣高齢者への介護保険事業を拡充せよ。

【質問】 元氣高齢者への施策展開に関して、さらに研究していく。

歩いて暮らせるまちの実現

【質問】 世田谷の魅力として、高齢者を初め、だれもが歩いて暮らせるまちを目指すべきだ。地区において日常の基礎的な生活に必要な施設機能を区民とともに検討せよ。

【質問】 今後も安全で安心して生活できるまちづくりに取り組む。

高久 則男議員(公 明)

子ども一時預かりの拡充

【質問】 育児不安の解消などにつながる、子育てステーションでの子ども一時預かりを充実すべきだ。ゼロ歳児から利用できるよう、預かりの対象年齢を引き下げよ。

【質問】 施設や体制などに多くの課題があり今後の研究課題としたい。

高齢者の見守り施策の充実

【質問】 あんしんすこやかセンターでモデル実施している、高齢者の見守り事業の全区展開が望まれる。全区展開の際は安否確認だけではなく簡単な家事手伝いなども行え。

【質問】 利用者のニーズなどを聞きながら、事業内容の検証を行う。

高齢者の働く場の創出

【質問】 高齢者の増加や景気の低迷などにより、高齢者の就労は厳しい状況だ。高齢者の起業支援や新たな発想による高齢者の就労場の創出などに積極的に取り組め。

【質問】 高齢者の働く意欲を生かせるよう、産業振興公社と取り組む。

岸 武志議員(共 産)

喜多見南部のバス利用環境の向上

【質問】 喜多見南部から二子玉川駅にバスで行くには乗り換えが必要があり不便だ。地元の要望にこたえ、二子玉川駅まで乗り換えなしで行けるバス路線を整備せよ。

【質問】 二子玉川駅と狛江駅を結ぶバス路線を事業者に提案している。

喜多見駅前駐輪場の確保

【質問】 喜多見駅周辺には買い物客用の駐輪場が不足している。駅前商店街の買い物客の利便性向上に向け、駅前広場の一部の暫定利用などにより駐輪場を確保せよ。

【質問】 適正な駐輪場の利用促進など、駅の実情に合った対策を行う。

成城8丁目での福祉施設の整備

【質問】 地元住民の再三の要請にもかかわらず、成城8丁目の都営住宅の建てかえに伴う福祉施設の整備は実現のめどが住民に見えない。一刻も早い整備を都に働きかけよ。

【質問】 福祉施設の整備に向け、引き続き積極的に取り組む。

里吉 ゆみ議員(共 産)

中学校の部活動支援員制度の拡充

【質問】 予算が足りずに謝礼が払えないため、部活動支援員の派遣回数を減らざるを得ない学校がある。指導体制の充実に向け、部活動支援員制度への予算を拡充せよ。

【質問】 財政状況が厳しい中、23年度も従来と同水準を確保予定だ。

北烏山地域の循環バスの改善

【質問】 千歳烏山駅前から久我山病院などを経由する循環バスの運行本数の減便と終バスの時間の繰り上げにより、多くの区民が困っている。事業者が改善を要請せよ。

【質問】 影響が大きい変更の際は利用者に対して十分説明を行うよう求める。

便色調カラーカードの導入

【質問】 胆道閉鎖症の早期発見のために乳児の便の色を確認できる便色調カラーカードを普及すべきだ。新生児訪問時に保健師が持参するなど、区は導入を検討せよ。

【質問】 国の母子手帳改訂の動向も注視し、カード活用の検討を行う。

石川 征男議員(自 民)

区独自の高齢者施策の実現

【質問】 厳しい財政状況下で将来の超高齢社会に対応するには、職員の柔軟な発想による施策の推進が必要だ。既存制度にとられない区独自の施策を国や都に発信せよ。

【質問】 柔軟な発想を持ち、新たな手法や施策の研究に取り組む。

地域活動への区民参加の促進

【質問】 町会や自治会などは、メンバーの高齢化や活動の担い手不足などの課題を抱えている。区は地域活動を積極的に広報し、区民のまちづくりへの参加意識を高めよ。

【質問】 活動への区民の関心を高め参加を促進できるよう工夫する。

家庭のCO2排出量削減への取り組み

【質問】 区内のCO2排出量の4割以上が家庭から排出されている。区は策定予定の地球温暖化対策実行計画の中で、家庭のCO2排出量の削減にどのような考えで取り組むのか。

【質問】 自然エネルギーの活用促進に対する支援などに取り組む。

中里 光夫議員(共 産)

明大前駅の駅前整備計画の見直し

【質問】 明大前駅は複数の駅と距離が近く接続もよい交通至便な場所であり、駅前のバスロータリーやバス路線ともなる補助線号線の整備は不要だ。整備計画を撤回せよ。

【質問】 防災拠点などの機能を持つ駅前広場の整備は必要だと考える。

補助26号線の整備計画の見直し

【質問】 補助26号線は高低差のある地形を横切る道路整備計画だ。無理な盛り土や高架化などにより、地域の分断や住環境の破壊を招くものであり、見直しを都に求めよ。

【質問】 安全安心なまちづくりの観点からも整備が必要である。

区民が望む梅ヶ丘病院跡地の活用

【質問】 都立梅ヶ丘病院の跡地には、保健医療福祉の拠点機能施設だけではなく、地域が必要とする施設も整備すべきだ。地域に不足している特養ホームを跡地に整備せよ。

【質問】 跡地利用の基本構想策定後の検討課題だと認識している。

中塚 さちよ議員(民 主)

特養ホームの施設長人事の改善

【質問】 介護や医療の専門性を理解し、職員の力を引き出せる人材を区立特養ホームの施設長とすべきだ。施設長は区の退職職員ではなく、公募か固有職員とせよ。

【質問】 施設の指定管理者が行う固有職員育成の取り組みを支援する。

地域に開かれた福祉拠点づくり

【質問】 あんしんすこやかセンターの運営事業者の一部が同一地区内の介護事業を独占しているとの指摘がある。公正中立で地域に開かれたセンターづくりに努めよ。

【質問】 状況を把握し、必要に応じて指導するなど取り組んでいく。

住宅のリノベーションの促進

【質問】 長く住み続けられる住宅への転換や良好な住環境づくりは喫緊の課題だ。既存の建物を生かして改修し、新たな価値を付加する住宅のリノベーションを促進せよ。

【質問】 住宅ストックの有効活用を図り質の高いまちづくりを進める。

# 問

# 質

# 般

# 一

## あべ 力也議員(減 税)

### 議会解散住民投票への区の見解

**質問** 名古屋市では議会の解散が住民投票により成立した。全国各地で首長と議会の折り合いがつかないケースがふえる中、このような動きに対する区の認識を示せ。

**答弁** 議会解散を問う住民投票は、市民の選択の結果だと考える。

### 子ども手当の自治体負担への見解

**質問** 施策の効果などに疑問があるとして23年度の子ども手当への財政負担を拒否する自治体がある。子ども手当に自治体負担を求める国の対応について区の見解を示せ。

**答弁** 原則、全額国庫負担となるよう制度設計されるべきと考える。

### 世田谷独自の高齢者手当の創設

**質問** 国民年金のみで暮らす高齢者への支援が必要だ。年金受給額が生活保護費にも満たない現状を踏まえ、生活保護費との差額を補う区独自の高齢者手当を創設せよ。

**答弁** 高齢者関連経費はふえており独自の施策では困難だと考える。

## 上川 あや議員(虹)

### 選挙公報全文を点検、音声化せよ

**質問** 区はこの春、選挙公報の点検版に加え音声版を作成する予定だが訳す内容はプロフィールのみで理念、政策が含まれない。選挙公報の点検と音声版は全文で行え。

**答弁** 物理的な条件などの問題を整理し、充実すべき課題と考える。

### 知的障害者も職員として雇用せよ

**質問** 区の障害者雇用率は法定基準を満たしているが中身は身体障害者雇用を進めるといふ法の趣旨に従い、知的障害者も職員採用せよ。

**答弁** 職員採用も視野に入れて検討を行うことは必要だと考える。

### 組織の不正を告発できる制度改革

**質問** 先の予算審議で区は、公益通報の外部窓口開設を検討すると約束したが一切進展は見られない。外部に弁護士などを配置した通報窓口を設置するつもりはあるのか。

**答弁** 内部通報に対応するための第三者窓口を開設する予定である。

## 木下 泰之議員(無党派)

### 小田急線連立事業の経緯の明確化

**質問** 国や都は、1964年の都市計画決定で小田急線の下北沢駅周辺の平面複々線化を決定したと説明している。現在の連立事業と当時の複々線事業との関係を明確に示せ。

**答弁** 工区ごとに連立事業の実施に合わせ計画変更されてきている。

### 京王線連立事業の事業費の比較

**質問** 都は全線地下化の場合などの試算もせず、京王線連立化を高架と地下の併用方式で行う旨の素案を示した。多様な想定での事業費比較を行うよう都に求めよ。

**答弁** 都は形式ごとに連立事業と線増事業の事業費割合を説明した。

### 京王線連立事業の経緯

**質問** 京王線連立事業において区が都市計画決定を目指す付属街路は、京王線の付属ではなく都市高速鉄道10号線の付属街路のはずだ。連立事業と10号線との関係を示せ。

**答弁** 昭和44年の決定で連立事業は10号線の都市計画となった。

## 山口 ひろひさ議員(自 民)

### 大井町線の開かずの踏切解消

**質問** 急行の導入により大井町線に開かずの踏切問題が発生した。目黒区内で発足した自由が丘駅の地下化を推進する団体と連携し、開かずの踏切の解消に取り組め。

**答弁** 長期的な視野で、東急電鉄の具体的な取り組みを一層促す。

### 「せたがや市」による商店街振興

**質問** 商店街振興に向け、支援を強化すべきだ。産業振興公社のインターネットショッピングモール「せたがや市」を活用し、多くの区内商店の商品を全国に発信せよ。

**答弁** 事業拡大に向けて産業振興公社の取り組みを支援していく。

### 介護施設の整備拡充

**質問** 介護施設の不足により、在宅生活を続けることが困難な高齢者が施設を利用できない状況にある。高齢者の増加なども見据え、特養ホームなどの整備に取り組め。

**答弁** 整備誘導策を工夫し、長期的な予測を立て計画的に取り組む。

## 羽田 圭三議員(社 民)

### 子育て世帯への支援策の拡充

**質問** 子どもの教育費が家計の大きな負担となっている。税収減が見込まれる中でも、就学援助や子ども医療費助成の拡充などにより、子育て世帯への支援策を充実せよ。

**答弁** 世田谷型福祉の一層の充実と発展に全力を挙げて取り組む。

### 高齢者などの住まいの確保

**質問** 高齢者などが住みやすい住宅の整備が喫緊の課題だ。公共住宅の建てかえの際に、バリアフリー化した居室の確保や福祉施設の併設を図るなど、整備を推進せよ。

**答弁** 今後も各事業主体や関係所管と連携し、積極的に取り組む。

### 区民に配慮した二子玉川公園整備

**質問** 仮称二子玉川公園の整備計画地内に現在も区民がお住まいになっている。用地買収に当たっては、当該土地に住む区民の生活、個別の事情に十分配慮せよ。

**答弁** 今後も要望に対応するなど、理解と協力を得られるよう努める。

## 稲垣 まさよし議員(未 来)

### ほっとスクール卒室生の進路調査

**質問** 不登校の児童生徒が進路への希望を見出せるよう、ほっとスクール卒室生の進路実績を示すべきだ。進路傾向を把握するためにも卒室生の進路の追跡調査を行え。

**答弁** 調査方法や調査の範囲などの課題があるが、今後研究する。

### 第3のほっとスクールの整備

**質問** 卒室生の多くが高校進学を果たすなど、ほっとスクールは社会的に大きな役割を担っている。不登校対策を一層充実するため、第3のほっとスクールを整備せよ。

**答弁** 第3のほっとスクールの整備に向けた検討を行っている。

### 全額国費による子ども手当の支給

**質問** 子ども手当に区の財源を投入するのは問題だ。保育園の整備などの区の実情に合った子育て支援策に財源を充てるため、子ども手当は国費で賄うよう国に求めよ。

**答弁** 区長会などを通じて、全額国庫負担による実施を求めてきた。

## 大場 やすのぶ議員(自 民)

### 世田谷ならではの観光事業の展開

**質問** まちのにぎわいの創出に向け、効果的な観光事業を展開すべきだ。産業振興公社が独自性を発揮して世田谷ならではの観光事業を行えるよう、区は支援せよ。

**答弁** 産業振興公社の主体的な観光事業の取り組みを支援していく。

### E.S.C.O事業を活用した施設改修

**質問** 公共施設の省エネ改修を少ない財政負担で行う工夫をすべきだ。省エネ改修に係る費用を光熱水費の削減分で賄うE.S.C.O事業を活用し、改修を積極的に進めよ。

**答弁** 今後、事業の導入可能性調査を実施していく予定である。

### ICTを活用した授業の推進

**質問** 子どもの理解力向上に効果的なICTを活用した授業を進めべきだ。教材データの共有化や教員のICT活用能力の強化などにより教員の指導力の向上を図れ。

**答弁** 教材の提供などを充実し、情報化の一層の向上を図る。

## 杉田 光信議員(公 明)

### 駐輪場の防犯対策

**質問** 烏山中央自転車等駐輪場は、規模が大きいかかわらず夜間に警備員がいなかったため、特に女性の利用者は防犯面で大変危険だと声を聞く。防犯対策を徹底せよ。

**答弁** 防犯カメラの早急な設置に向け、指定管理者と協議する。

### スポーツ施設の拡充

**質問** 区民が地域で気軽にスポーツに親しめる場が不足している。区内の大学などの民間施設に協力を求めるなど、地域資源を有効活用してスポーツ施設の拡充を図れ。

**答弁** 大学との連携強化などによりスポーツの場と機会を拡充する。

### 交通不便地域解消への取り組み

**質問** 高齢化が進む中、身近な移動手段としてバスの重要性が増している。区がふじみ荘の送迎に毎日運行しているふれんどバスを活用し、交通不便地域の解消を図れ。

**答弁** 法令上、路線バスのような利用ができない制約がある。

## 竹村 津絵議員(生 産)

### SORAプロジェクト結果の活用

**質問** 国は、大気汚染と呼吸器疾患との関連を調べる大規模疫学調査を実施し、現在解析中だと聞く。調査に協力した区として、調査結果を環境政策にしっかりと活かす。

**答弁** 結果も踏まえ国や都と連携して健康影響への対応を検討する。

### 有害ごみ処理の仕組みを構築せよ

**質問** 清掃工場で排ガス中の水銀濃度が基準を超える事故が相次いでいる。拡大生産者責任の理念に基づき、水銀を含む蛍光灯管などは事業者が処理する仕組みをつくれ。

**答弁** 業界団体の自主回収の情報提供などを行い適正処理に努める。

### 区民に理解される街づくり誘導を

**質問** 区は21年度に「まちづくりルール」の新たな方向性に関する検討」と題した調査を行った。区はこの結果を活かし、区民に理解される街づくりをどう誘導するのか。

**答弁** 世田谷らしいまちづくりのルールのあり方を検討する。

## 唐沢 としみ議員(社 民)

### 区民と進める自治権の拡充

**質問** 真に自立した自治体となることは区にとつて長年の課題だ。自治権の拡充がもたらすメリットを区民に明確に示し、区民と力を合わせて自治権の拡充に努めよ。

**答弁** 区民の機運を高めていくよう、きめ細かな対応を心がける。

### 区民と協働した基本構想づくり

**質問** 区の将来像を示す基本構想は区民の知恵を結集し、区民とつくるのが重要だ。区は当面の政策課題として基本構想の改定に言及したが、どう改定を進めるのか。

**答弁** 新たな基本構想策定の際は、多くの区民参加のもとで取り組む。

### これからの地域行政制度のあり方

**質問** 地域での課題解決を支える区民のあり方が問われている。無縁社会への対応や高齢者の見守りなどの新しい課題が生じる中、今後の地域行政制度の展望を示せ。

**答弁** 時代の変化に対応しつつ、堅持されていくものと考えている。

## 田中 優子議員(み 行)

### トゥレット症候群への理解の促進

**質問** 発達障害の一つであるトゥレット症候群は認知度が低く、当事者や家族は誤解や偏見を受けている。教育現場で研修会を行うなど、区が率先して理解を深めよ。

**答弁** 発達障害に関する研修会などを通じ、理解促進に取り組む。

### 子宮頸がん検診の受診率向上

**質問** 日本の子宮頸がん検診の受診率は先進国で最下位だ。がんの発症率は低いながらも女性のウイルスに感染するという事実を周知し、受診率の向上に取り組め。

**答弁** 受診体制を整備しており、今後検診の積極的な啓発を行う。

### スカイキャロットの経営改善

**質問** スカイキャロットの赤字経営を指摘し、運営の撤退も含めて多くの改善策を提案したが、区は指定管理者による運営継続を表明した。今後どう改善を図るのか。

**答弁** 指定管理者制度を活用した改善を積極的に図っていく。



# する会派等の意見

予算特別委員会での質疑・要望や、本会議で表明された23年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

## 本会議での意見表明者

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 自由民主党世田谷区議団     | 下山 芳男議員  |
| 公明党世田谷区議団       | 飯塚 和道議員  |
| 世田谷区議会民主党       | すがややすこ議員 |
| 日本共産党世田谷区議団     | 桜井 稔議員   |
| 生活者ネットワーク世田谷区議団 | 吉田 恵子議員  |
| 社会民主党世田谷区議団     | 羽田 圭二議員  |
| みんなの党・世田谷行革10番  | 田中 優子議員  |
| 無党派市民           | 木下 泰之議員  |
| 新風21            | 小泉たまた子議員 |
| 減税世田谷           | あべ 力也議員  |
| 未来せたがや          | 稲垣まさよし議員 |
| レインボー世田谷        | 上川 あや議員  |
| 世田谷無所属の会        | ひうち優子議員  |
| 無所属             | 青空こうじ議員  |

## 行政改革の成果を着実に反映し 強固な財政基盤を構築せよ

### 自由民主党世田谷区議団

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災により、多くの被災者が過酷な環境で避難生活を送っている。被災した地域の復興と被災者の生活再建に向け、救援物資の搬送や被災者の受け入れなどをはじめ、区としてさらなる支援に取り組むことを強く求める。

23年度の特別区交付金は増額となる一方で区民税は引き続き減少が見込まれており、また、社会保障関連経費が増大し、歳出構造は硬直化の一途をたどっている。区が担うべき役割を見きわめ、受益者負担のあり方など、さまざまな観点から施策を見直し、行政改革の成果を着実に生み出すことが重要だ。強固な財政基盤の構築に向け、事業執行に伴う特定財源の確保はもちろん、区有財産の一層の活用などによる新たな税外収入の確保や債権管理の強化にも積極的に取り組むよう要望する。

以下、具体的な施策について、意見を述べる。

大地震への対策として、区施設や民間建築物の耐震化の促進を図るとともに、緊急車両などの円滑な

な通行を確保するための道路整備を推進せよ。また、災害時の地域での助け合い活動への支援や、ボランティアや物資の受け入れ体制の整備など、ソフト面の対策にも早急に取り組め。さらに、区民の安全安心の確保に向け、商店街への防犯カメラの設置促進、豪雨対策や自転車走行環境の整備をはじめとする交通安全施策の推進など一層の取り組みを求める。

不況に苦しむ中小零細企業への融資制度の充実やものづくり技術の継承支援など、区内産業の活性化に全力を挙げよ。また、文化と芸術の振興策を一層発展させよ。

環境都市世田谷を実現するため、みどり33を一層推進するとともに、区施設の省エネ化と地域経済活性化を踏まえた省エネ住宅の整備に努めよ。また、ごみの減量とリサイクル率のさらなる向上を図れ。

### 日本共産党世田谷区議団

(すべての会計に賛成する意見)

区民が心身ともに健康で過ごせるよう、個人のライフステージに合わせた健康施策を展開すべきだ。高齢者の介護予防をはじめ、区民の疾病の早期発見を図るための各種検診の受診率向上などに努めよ。気軽にスポーツができる環境づくりに向け学校施設などの活用を進めよ。国体と全国障害者スポーツ大会が区内でも開催されることを機にスポーツ振興策を充実せよ。

ひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増加している。シヨートステイの充実や見守り体制の整備、家族介護者支援の強化などにより、高齢者の在宅生活を支援せよ。また、障害者の自立生活への支援の充実や福祉人材の育成に一層努めよ。

子育て支援を強化すべきだ。一時預かりなどを充実せよ。また、学校施設や公有地などを活用した保育施設の整備を進めよ。さらに、発達障害への支援を含めた子育て相談事業を充実せよ。

厳しい財政状況でも災害に強く、快適で暮らしやすいまちづくりを進めるべきだ。外環道や都市計画道路の整備、狭あい道路の解消な

ど、防災や環境面から効果的な道路整備を着実に進めよ。また、橋梁の安全性も確保せよ。京王線連立事業に伴う沿線まちづくりは区民意見を反映して進めよ。環境への配慮や健康増進につながる自転車利用を促進するためのレンタサイクルポールの増設や交通不便地域へのバス路線の拡充に取り組め。子どもがたくましく生きる力を身につけるため、質の高い教育を展開すべきだ。日本の伝統や文化を学ぶ教科日本語の充実や科学への関心を高める教育の実践、道徳教育の推進など、世田谷らしい教育を充実するとともに、子どもの体力向上にもしっかりと取り組めよ。

## 大規模再開発への税金投入はやめ 区民の暮らしと福祉を守れ

### 日本共産党世田谷区議団

(一般会計と国保会計と後期高齢者会計と介護会計には反対、給食会計には賛成する意見)

東日本大震災やこれに伴う原発事故の影響により、多くの被災者が避難所生活を余儀なくされている。区内の民間アパートの空き部屋を活用して被災者の大規模な受け入れを行うなど、区は必要な予算を措置して本格的な被災者救援活動に取り組め。

住宅の耐震化や防災まちづくりに係る予算を大幅に拡充せよ。

区民健康診断とがん検診の有料化はやめよ。はり・灸・マッサージサービス事業の利用料の値上げや高校生向けの奨学金の削減、図書館の資料購入費の削減を見直せ。

区は財政状況が厳しいことを理由に福祉や教育、防災関連の予算を削減しているが、約70億円の基金を使えば区民の暮らしを守る施策の展開は十分可能だ。巨額の費用を伴う道路整備や二子玉川再開発を進める区の基本計画と実施計画を抜本的に見直し、福祉施策や防災施策に最優先に取り組み。

住宅の耐震改修やリフォームへの助成を拡充せよ。子どもの医療費助成の対象を18歳まで拡大せよ。認可保育園と特養ホームの増設に取り組み、若者の雇用確保と区内事業者の働き起こしにつなげよ。就学援助を拡充するなど、教育格差解消への取り組みを進めよ。

住宅への太陽光発電装置設置を促進せよ。バイオディーゼル燃料を活用した施策を進めよ。廃プラスタックのリサイクルを拡充せよ。

## 課題に迅速かつ柔軟に対応し 区民の生命と健康を守れ

### 生活者ネットワーク世田谷区議団

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災に伴う原発の事故による区民生活への影響ははかり知れない。適切な支援と対応が必要な今、迅速な予算執行を優先するべきだと考え全会計に賛成する。

節電対策中であっても通学路などの照明は点灯せよ。震災に伴う義援金詐欺などへの対応を早急に行え。地域防災計画を再点検せよ。災害対策に女性の視点を盛り込め。区の厳しい財政状況や被災地支援の国の動向を踏まえ、二子玉川再開発などの大型事業を見直せ。がん検診の受診率を向上させよ。自治基本条例の策定に着手せよ。子どもの権利擁護のため、オンブズパーソン制度をつくれ。若者を支援する総合相談窓口を設けよ。地域密着型サービスを拡充するなど世田谷型地域福祉を充実せよ。

低炭素社会の実現に向け、自然エネルギーの利用を促進せよ。プラスチックの資源回収を拡充せよ。農地や地下水の保全に努めよ。次期教育ビジョン行動計画の策定では、子どもの参画を保障せよ。男女共同参画条例を制定せよ。区民意見を反映できる区議会とするために議会基本条例が必要だ。

地区の力の向上に向け、まちづくりセンターの機能を強化せよ。歩いて暮らせるまちづくりの実現に尽くせ。東日本大震災の被災地を積極的に支援せよ。施策展開に当たって区民の意見を求める際には、区の考え方を明確に示せ。お元氣高齢者への支援策を充実せよ。

## 区民に信頼される区政を実現せよ

### 新風 21

(すべての会計に賛成する意見)

首都圏での大震災に対応できるよう地域防災計画の見直しと防災体制の総点検を行え。東日本大震災に伴う被災者に住居や物資を提供せよ。自治体間で連携し、区内に避難した被災者に被災地の支援情報を提供せよ。災害時でも助け合える強力な地域社会を形成せよ。

東日本大震災の被災者への支援とともに区の災害対策を一層強化せよ。放射能汚染に係る情報をわかりやすく伝えるよう、国や都に求めよ。テレビで区の災害情報を流すよう、テレビ局と協定を結べ。災害時に有効な交通手段である自転車の走行環境の整備を推進せよ。

## 明日を感じられる区政を実現せよ

### 無所属

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災の被害ははかり知れず、わが国は大きなピンチに立たされている。今こそ多くの人が手を携えて、明日を感じられる地域づくりに取り組むことが重要だ。大きな被害を受けてゼロから復興に当たる被災地の自治体を、区は人的貢献を含めて全力で支援せよ。

## 被災者支援、原子力防災を万全に

### 未来せたがや

(すべての会計に賛成する意見)

民間空き住宅を活かし被災者の受入れ増を検討せよ。被災した子どもの心のケアに力を入れよ。安全な水を提供できるよう深井戸の確保を。夏の大规模停電に備え人工呼吸器使用者、熱中症になりやすい子ども、高齢者の安全策を検討せよ。震災対策の見直しに着手せよ。



予算特別委員会での採決の様子

# 23年度予算に対



予算特別委員会の質疑の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継** をクリック！

## 区民の生命と財産を守るため 自治体基盤の強化に全力を挙げよ

公明党世田谷区議団

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災により多くのとうとい命が失われ、多くの方々が不安な日々を過ごしている。国難とも言える危機的な状況であり、被災地の一日も早い復興に向け、すべての自治体がそれぞれの役割を果たすことが重要だ。区はその先頭に立って積極的に支援に努めるとともに、災害への不安に真正面から対峙し、災害に動じない世田谷をつくり上げよ。

大幅な減収の一方で社会保障関連経費が増大している厳しい財政状況の中、区が全事務事業点検を行い、子宮頸がんワクチンの助成や高齢者見守り施策などの必要な事業に予算配分したことを評価する。引き続き、民間活力型の経営ビジョンを持つなど、大胆な発想で新たな自治体戦略を講じることが重要だ。87万人を超える区民の生命と財産を守るため、自治体基盤の強化に全力を挙げよ。

以下、今後の最重要課題と考える施策について、意見を述べる。

第1に、防災対策の強化が必要だ。先般の震災による被災者への支援体制を強化し、公的住宅を初めとした区施設での受入先を早急に拡充せよ。また、住宅や区施設に耐震化に一層力を注げ。

第2に、高齢者施策を充実すべきだ。見守りネットワーク事業や高齢者安心コールの拡充などを着実に進め、地域の実情に合った高齢者サービスの確立に努めよ。

第3に、環境に配慮した政策への転換が重要だ。先般の震災を機に、特に電力においては化石燃料や原子力に依存する資源供給型から、自然、再生エネルギー型への転換が求められている。区にお

ては街路灯などの省エネ化に加え、一般家庭への太陽光発電パネルなどの設置助成の拡充に取り組み。

第4に、質の高い公教育の実現に向け、土曜日補習などの取り組みを充実せよ。世田谷9年教育の本格実施に向けた試行や検討を特別支援教育も含めて着実に進めよ。

第5に、今後の区の取り組みに対する要望を述べる。

水環境が地球規模で危機的状況に陥っている。すべての生命をめぐむために不可欠な水資源の保全に積極的に取り組み。

高齢者の知恵と経験は現在と未来を豊かにするかけがえのない宝だ。高齢化社会の中で社会の持続的な繁栄を図るため、その礎となる高齢者をとうとうぶ風をつくれ。

世界的な食糧問題は我が国の農業と深く関係している。社会の文化や伝統、生命の尊厳、環境問題を初め、人類の未来のあり方をも考慮し、農業の振興を図れ。

未来を担う子どもたちの幸福の礎となるよう、教育の質を高めよ。

みずからの地域の未来をどのような考え方にゆだねるのかという議論に力を注ぐべきだ。区がみずから率先して地域に溶け込み、区民ニーズの把握に全力で取り組み。

## 無駄のない行政運営を徹底し 福祉や教育などの施策を充実せよ

世田谷区議会議民民主党

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災により、多くの方々が避難所生活を強いられている。被災者に対してできる限り支援するべきだと考え、区内の公営住宅の提供や区民への節電への協力の呼びかけなどを予算特別委員会の中で求めてきた。また、金町浄水場の水道水の放射能測定で乳児の飲用に関する暫定的な指標値を超える結果が出たため、乳児の

いる家庭への備蓄水の提供などの緊急の対応を区に求めた。引き続き23年度も優先課題を見きわめ、できる限りの震災対策と被災地への復興支援に臨機応変に取り組み。

23年度予算案は任期満了に伴う区長選挙と区議会議員選挙が控える中で編成された。我が会派は、2期8年を務めた熊本区長が引退を表明している中、予算特別委員会において税金の無駄遣いを許さないとの視点から、8名の議員がさまざまな質疑を行った。また、子育てや教育、医療、介護、障害者福祉などの各分野で区民が安心して世田谷に住み続けられるための政策を実現するため、それぞれ

の視点で区政の問題点を指摘し、要望を行った。熊本区長は我が会派が区に要望した政策の実現に取り組みとともに、次期区長にしっかりと引き継ぎを行え。

区の外郭団体については、民間の事業者との役割分担が不明確な部分が多いにもかかわらず区から多額の補助金が投入され続けていることや、区の退職職員の天下り先となつていくことをこれまで何度も指摘してきた。これらの問題の根本的な解決に取り組み。

経済の好転が見込めない状況で踏まえ、基金を取り崩してまで行う道路事業は延期せよ。

区議会として議員定数の削減や費用弁償の見直しなどを実現したことと区が世田谷版事業仕分けにより約55億円のコストを削減したことなどを評価する。これらの取り組みにより生み出された財源を保育待機児の解消や教育環境の改善、高齢者の安否確認や在宅サービスの充実、都立梅ヶ丘病院跡地などの公有地を活用した障害者のグループホームやケアホームの整備などに充てよ。引き続き、区民が生涯にわたって安心して住み続けられるよりよい環境の整備に全力で取り組み。

## 未曾有の危機から区民を守れ 社会民主党世田谷区議団

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災の被災地の復興と被災者の生活再建に向け、自治体の垣根を越えた支援体制を強化せよ。また、震災により区民生活や区内産業にも影響が出ている。区は区民の健康と財産を守るため、区民に正確な情報を迅速に提供するとともに、災害対策を一層強化せよ。さらに、災害時だからこそ、命の尊厳が損なわれることのないよう十分配慮せよ。

がん検診などへの自己負担の導入により受診率が低下した場合は、即刻見直し。区内産業の活性化も視野に、住宅のエコ化を推進せよ。

世田谷のよさを伸ばす施策を行え  
みんなの党・世田谷行革110番

(すべての会計に賛成する意見)

東日本大震災の影響により、国の予算は大幅な補正を迫られている。これにより区の予算が影響を受けることは必至であり、未確定な部分が多くあることを踏まえた上で、予算案に賛成する。

今後の福祉政策について、区は22区と足並みをそろえた施策の展開を図るのではなく、区の福祉分野の特徴的な部分を伸ばすことに特化した世田谷型福祉を展開せよ。教科日本語は世田谷が誇るすばらしい取り組みだ。今後も着実に推進できるように、教員の人事権の区への移譲を国や都に強く求めよ。

## 脱原発時代を切り拓くエコ政策を 無党派市民

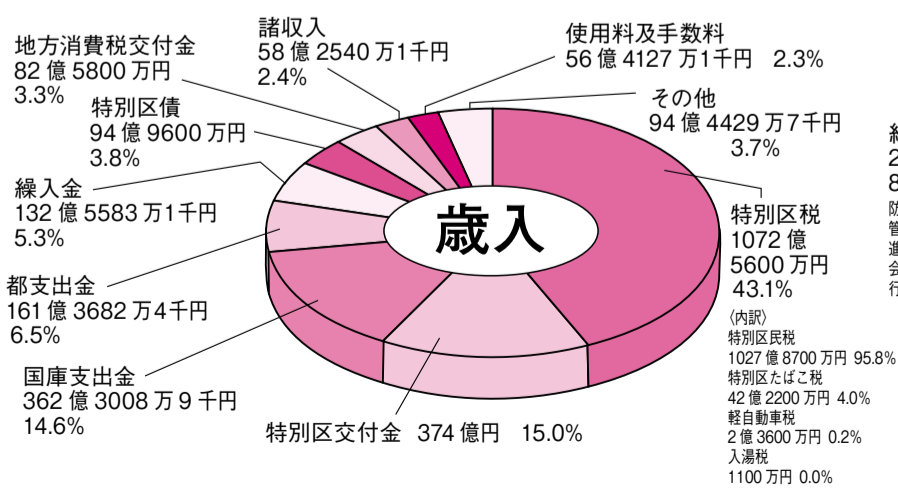
(すべての会計に反対する意見)

脱原発と自然共生の時代を切り拓くエコロジカル・ニューディール政策を。太陽光発電・スマートグリッド等に率先して取り組み。外環と補助54号線等都市計画道路を見直し。京王等連立事業の鉄道は地下に地上は緑の避難路を。二子玉川等の超高層再開発を見直し。

### ●平成23年度各会計予算●

| 内 容        |               | 対前年度比伸び率 (%) |
|------------|---------------|--------------|
| 一 般 会 計    | 2489億4371万3千円 | -0.1         |
| 特別会計       |               |              |
| 国民健康保険事業会計 | 768億3072万2千円  | 8.4          |
| 後期高齢者医療会計  | 158億9452万7千円  | 0.8          |
| 介護保険事業会計   | 463億4228万6千円  | 5.1          |
| 中学校給食費会計   | 1億7795万4千円    | 0.4          |
| 計          | 3881億8920万2千円 | 2.1          |

### 一般会計予算の内訳 (% = 構成比)



## 平成23年度 予算のあらまし

